

DL205 のエラーコード	説明
E003 エンザンタイムアウト	プログラムのスキャンタイムがウォッチドグタイマに設定している時間を超過すると、このエラーが発生します。SP51 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。この問題を解決するには、FOR/NEXT ループとサブルーチンに WDOGR 命令を追加するか、メニュー 55 を実行してウォッチドグタイマに設定されている時間を長くしてください。
E041 デンチデンアツティカ	CPU 内蔵電池の電圧が低下していますので交換してください。SP43 がオンになり、エラーコードが R7757 に保存されます。
E099 ジュンピエラー	コンパイル済みプログラムの長さが、CPU RAM の容量を超えると、このエラーが発生します。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。アプリケーションプログラムのサイズを小さくしてください。
E104 MC カキコミエラー	CPU への書き込みに失敗しました。電源をリセットして、CPU を取り外し、EEPROM が書き込み保護されていないことを確認してください。EEPROM が書き込み保護されていない場合は、EEPROM が正しく挿入されているかを確認してください。エラーが再発する場合は、CPU を交換してください。
E151 パリティエラー	アプリケーションプログラム内でパリティエラーが発生しました。SP44 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。この問題は、ノイズに起因している可能性があります。メモリを消去してプログラムを再度、読み込みます。アース接地に問題があれば修正します。エラーが再発する場合は、EEPROM または CPU を交換してください。
E155 RAM メモリチェックエラー (D2-240、D2-250-1、D2-260)	システム RAM 内でチェックサムエラーが発生しました。SP44 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。この問題は電池電圧の低下、ノイズ、CPU RAM 故障に起因している可能性があります。メモリを消去してプログラムを再度、読み込みます。アース接地に問題があれば修正します。エラーが再発する場合は、CPU を交換してください。
E202 モジュールヌケ	入出力モジュールは CPU との通信に失敗しました。または、モジュールがスロットに実装されていません。SP45 がオンになり、エラーコードが R7756 に保存されます。メニュー42を実行して、エラーを通知しているモジュールのスロットおよびベース No. を調べます。
E210 シュンテイ	ベースに供給している主電源で、電源障害による瞬断が発生しました。
E250 I/O バスイジョウ	ローカルの入出力システムで故障が発生しました。問題はベースの入出力バスがベースの電源で発生している可能性があります。SP45 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。メニュー42を実行して、エラーを通知しているベース No. を調べてください。
E252 I/O ハイレツイジョウ	CPU の自動構成チェックをオンにしているとき、ベース内のモジュールの位置を変えたり、モジュールの種類を変えたために実際の入出力構成が変更されると、このエラーが発生します。モジュールを元の位置/種類に戻すか、メニュー45を実行して現在の構成を登録してください。SP47 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
E262 I/O バンゴウオーバー	範囲外の入出力アドレスがユーザプログラム内で検出されました。プログラム内の無効なアドレスを訂正します。SP45 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。

DL205 のエラーコード	説明
<b>E312</b> ツウシンデータエラー	CPU との通信中にデータエラーが検出されました。エラーを解除して、要求を再試行します。エラーが再発する場合は、2つのデバイスを結ぶケーブルのチェック、ハンドヘルドプログラムの交換、あるいは、場合により、CPU の交換などを行ってください。SP46 がオンになり、エラーコードが R7756 に保存されます。
<b>E313</b> アドレスエラー	CPU との通信中にアドレスエラーが検出されました。エラーを解除して、要求を再試行します。エラーが再発する場合は、2つのデバイスを結ぶケーブルのチェック、ハンドヘルドプログラムの交換、あるいは、場合により、CPU の交換などを行ってください。SP46 がオンになり、エラーコードが R7756 に保存されます。
<b>E316</b> モードエラー	CPU との通信中にモードエラーが検出されました。エラーを解除して、要求を再試行します。エラーが再発する場合は、ハンドヘルドプログラムの交換、あるいは、場合により、CPU の交換などを行ってください。SP46 がオンになり、エラーコードが R7756 に保存されます。
<b>E320</b> ツウシンタイムアウト	CPU がハンドヘルドプログラムからの通信要求に 응답しませんでした。接続ケーブルが正しいこと、破損していないことを確認します。システムの電源をリセットし、エラーが再発する場合は、CPU の交換を先に行い、場合により、ハンドヘルドプログラムを交換してください。
<b>E321</b> ツウシンエラー	CPU との通信中にデータエラーが検出されました。接続ケーブルが正しいこと、破損していないことを確認します。システムの電源をリセットし、エラーが再発する場合は、CPU の交換を先に行い、場合により、ハンドヘルドプログラムを交換してください。
<b>E4**</b> プログラムエラー	アプリケーションプログラムに文法エラーがあります。もっともよく見られる原因は END がない場合です。メニュー21 を実行して、E4**シリーズのエラーのうち、どのエラーがフラグをセットしているかを調べます。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E401</b> エンドメイレイナシ	アプリケーションプログラムはすべて、END 文で終わらなければなりません。ユーザプログラム内の正しい位置に END 文を挿入してください。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E402</b> ラベルミテイギ	適切なラベルを付けずに GOTO 命令、CAL 命令、MOVMC 命令または LDLBL 命令を実行しました。この命令について詳しくはプログラミングマニュアルを参照してください。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E403</b> CEND メイレイナシ ( D2-240、D2-250-1、D2-260 )	プログラム内のサブルーチンが CEND 命令で終わっていません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E404</b> FOR メイレイナシ ( D2-240、D2-250-1、D2-260 )	NEXT 命令に相対する FOR 命令がありません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。

DL205 のエラーコード	説明
<b>E405</b> NEXT メイレイナシ ( D2-240、D2-250-1、D2-260 )	FOR 命令に相対する NEXT 命令がありません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E406</b> IEND メイレイナシ	プログラム内の割込みルーチンが IEND 命令で終わっていません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E412</b> ラベルオーバ ( D2-240、D2-250-1、D2-260 )	プログラム内で、CLBL、LBL 命令または DLBL 命令が 64 回以上使用されています。また、プログラム内で、CAL 命令、または GOTO 命令を 128 回以上使用している場合もこのエラーが発生します。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E413</b> FOR NEXT オーバ ( D2-240、D2-250-1、D2-260 )	ユーザプログラム内で、FOR/NEXT ループが 64 回以上使用されています。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E421</b> ステージジュウフク	同じ番号にセットされている SG 命令または ISG 命令がユーザプログラム内に複数あります。それぞれのステージおよび初期ステージの番号は重複できません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E422</b> ラベルジュウフク	同じ番号にセットされている CLBL 命令、または GLBL 命令がアプリケーションプログラム内に複数あります。各サブルーチンとラベルの番号は重複できません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E423</b> FOR ジュウフク ( D2-240、D2-250-1、D2-260 )	ネスティング(FOR/NEXT ループを別のループ内にプログラム)することはできません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E431</b> ステージイチエラー	ISG 命令または SG 命令は、END 文の後 ( サブルーチン内など ) にプログラムできません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E432</b> GLBL イチエラー ( D2-240、D2-250-1、D2-260 )	GOTO 命令に相対する LBL 命令は、END 文の後 ( サブルーチン内など ) にプログラムすることはできません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E433</b> CLBL イチエラー ( D2-240、D2-250-1、D2-260 )	CLBL 命令は、プログラム本体や割込みルーチン内ではなく、END 文の後にプログラムしなければなりません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
<b>E435</b> CEND イチエラー ( D2-240、D2-250-1、D2-260 )	CEND 命令は、プログラム本体や割込みルーチン内ではなく、END 文の後にプログラムしなければなりません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。

DL205 のエラーコード	説明
E436 ILBL イチエラー	ILBL 命令は、プログラム本体内ではなく、END 文の後にプログラムしなければなりません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
E438 IEND イチエラー	IEND 命令は、プログラム本体内ではなく、END 文の後にプログラムしなければなりません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
E440 DLBL イチエラー	DLBL 命令が (END 文の後ではなく) プログラム本体内にプログラムされているか、入力接点を含むラダー部に DLBL 命令が記述されています。
E441 データブプエラー (D2-240、D2-250-1、D2-260)	ACON 命令および NCON 命令は、プログラム本体内ではなく、END 文の後にプログラムしなければなりません。SP52 がオンになり、エラーコードが R7755 に保存されます。
E451 マスタラインミス	MLS 命令の番号はプログラムの上から下まで昇順にしなければなりません。
E452 INPUT モジュール	I (入力) がコイル出力として使われています。
E453 タイマ/カウンタヌケ	タイマまたはカウンタの接点が使われていますが、対応するタイマまたはカウンタがありません。
E454 ATMR ジョウケンヌケ	ATMR 命令に必要な条件接点が 1 つ足りません。
E455 カウンタジョウケンヌケ	CNT 命令または UDC 命令に必要な条件接点が 1 つ足りません。
E456 SR ジョウケンヌケ	SR 命令に必要な条件接点が 1 つ足りません。
E461 スタックオーバー	9 レベル以上のロジックがスタックに保存されました。OR LD 命令と AND LD 命令の使い方をチェックしてください。
E462 スタックアンダー	スタックに保存されているロジックレベルの数が合っていません。AND LD 命令および OR LD 命令の数と、LD 命令の数を合わせなければなりません。
E463 ロジックエラー	ラダーロジック部の先頭に LD 命令が使われていません。
E464 カイロミカンセイ	ラダーロジック部が正しく終わっていません。
E471 コイルジュウフク	複数の OUT 命令が同じ入出力番号を参照しています。
E472 タイマジュウフク	複数の TMR 命令が同じ番号を参照しています。

DL205 のエラーコード	説明
<b>E473</b> カウンタジュウフク	複数の CNT 命令が同じ番号を参照しています。
<b>E480</b> CV イチエラー	CV 命令をサブルーチンまたはプログラム割込みルーチン内で使用しています。CV 命令はプログラム本体前（END 文の前）でのみ使用することができます。
<b>E481</b> CV フレンジク	CV 命令間に CV 命令以外の命令がプログラムされています。
<b>E482</b> CV オーバー	使用している CV 命令の数が「17」を越えています。
<b>E483</b> CVJMP イチエラー	CVJMP 命令をサブルーチンまたはプログラム割込みルーチン内で使用しています。
<b>E484</b> CV メイレイナシ	CVJMP 命令の前に CV 命令がありません。CVJMP 命令は、CV 命令の直後に続けなければなりません。
<b>E485</b> CVJMP ナシ	CVJMP 命令が、CV 命令と（SG、ISG、BSTART、BEND、END）命令との間に配置されていません。
<b>E486</b> BREQ イチエラー	BREQ 命令をサブルーチンまたはプログラム割込みルーチン内で使用しています。BREQ 命令はプログラム本体前（END 文の前）でのみ使用することができます。
<b>E487</b> BSTART ナシ	BREQ 命令の直後に BSTART 命令がありません。
<b>E488</b> BSTART イチエラー	BSTART 命令をサブルーチンまたはプログラム割込みルーチン内で使用しています。別の BSTART 命令が、BREQ 命令と BEND 命令の間で使用されています。
<b>E489</b> BSTART ジュウフク	BSTART 命令に使用している制御リレーを別の場所で出力として使用しています。

DL205 のエラーコード	説明
E490 SG メイレイナシ	BSTART 命令の直後に SG 命令がありません。
E491 ISG イチエラー	BSTART 命令と BEND 命令の間に ISG 命令があります。
E492 BEND エラー	BEND 命令をサブルーチンまたはプログラム割込みルーチン内で使用しています。 BEND 命令の直後に BSTART 命令がありません。
E493 メイレイイチエラー	( CV、SG、ISG、BSTART、BEND ) 命令は、BEND 命令の直後に続けなければなりません。
E494 BEND メイレイナシ	BSTART 命令の直後に BEND 命令がありません。
E501 ソウサテジュンミス	ハンドヘルドプログラマで入力したキーが間違っているか、キー操作が誤っています。
E502 シテイバンチミス	ハンドヘルドプログラマで入力したアドレスが無効であるか、範囲を越えています。
E503 メイレイセツテイミス	ハンドヘルドプログラマで入力した命令が無効です。
E504 スウチセツテイミス	命令で指定した値または参照番号が無効です。
E505 ミタイオウメイレイ	ハンドヘルドプログラマで入力した命令が DL205 では未対応の命令です。
E506 ミタイオウソウサ	ハンドヘルドプログラマで実行しようとした操作が DL205 では未対応の操作です。
E520 モード RUN	ハンドヘルドプログラマで実行しようとした操作は、RUN モードでは無効です。
E521 モード TEST-R	ハンドヘルドプログラマで実行しようとした操作は、テスト RUN モードでは無効です。
E523 モード TEST-S	ハンドヘルドプログラマで実行しようとした操作は、テスト STOP モードでは無効です。
E524 モード STOP	ハンドヘルドプログラマで実行しようとした操作は、STOP モードでは無効です。

DL205 のエラーコード	説明
E525 キーモードミス MODE SWITCH	CPU のモードスイッチを TERM 以外の位置にセットしているとき、ハンドヘルドプログラマから操作を実行しようとした。
E526 OFF LINE	ハンドヘルドプログラマがオフラインモードになっています。MODE キーを押して、オンラインモードに移行してください。
E527 ON LINE	ハンドヘルドプログラマがオンラインモードになっています。MODE キーを押して、オフラインモードに移行してください。
E528 CPU MODE	RUN 中書き替えモードでは実行できない操作を行おうとした。
E540 パスワードクローズ	CPU は、パスワードロックされています。CPU のロックを解除するには、メニュー82 を実行してパスワードを入力してください。
E541 パスワードフィッチ	CPU のロックを解除するためメニュー82 を実行しましたが、入力したパスワードが間違っています。
E542 パスワードイジョウ	CPU の電源投入時に入力したパスワードが誤っていたため、パスワードが「00000000」にリセットされました。 メニュー81 を実行して、パスワードを再入力する必要があります。
E601 カキコミヨチナシ	CPU で使用可能なメモリ容量を越える容量を必要とする命令を実行しようとした。
E602 ケンサクメイレイナシ	検索機能を実行しましたが、指定した命令が見つかりませんでした。
E604 ケンサクバンゴウナシ	検索機能を実行しましたが、指定した番号が見つかりませんでした。
E610 シテイモジュールナシ	アプリケーションプログラムが参照している入出力モジュールの種類が正しくありません。
E620 MC ヨウリョウフソク	CPU とハンドヘルドプログラマ間でデータを転送しようとしたが、受信側の装置が保持できる容量を越えていました。
E621 MC ミショウキョ	ブランクでない EEPROM に書き込みを実行しようとした。EEPROM を消去してから、再度、書き込みを行ってください。
E622 MC ミソウチャク	ハンドヘルドプログラマの EEPROM を実装していないハンドヘルドプログラマにデータを転送しようとした(または EEPROM が故障している可能性があります)。
E623 MC システム	ハンドヘルドプログラマの EEPROM に対してある機能を要求しましたが、EEPROM にはシステム情報しか保存されていません。
E624 MC データ REG	ハンドヘルドプログラマの EEPROM に対してある機能を要求しましたが、EEPROM には V メモリデータしか保存されていません。
E625 MC プログラム	ハンドヘルドプログラマの EEPROM に対してある機能を要求しましたが、EEPROM にはプログラムデータしか保存されていません。

DL205 のエラーコード	説明
<b>E627</b> MC カキコミフリオウ	書き込み保護がかかっているか、故障している EEPROM に書き込みを実行しようとしてしました。書き込み保護ジャンパをチェックして場合により、EEPROM を交換してください。
<b>E628</b> MC タイプフィッチ	サイズの正しくない EEPROM が実装されています。D2-230 と D2-240 CPU では使用する EEPROM の大きさが異なります。
<b>E640</b> MC ショウゴウエラー	ハンドヘルドプログラムの EEPROM と CPU 間で比較を行いましたが、エラーが発生しました。
<b>E650</b> HPP SYS ERR	ハンドヘルドプログラマでシステムエラーが発生しました。ハンドヘルドプログラマの電源をリセットしてください。エラーが再発する場合は、ハンドヘルドプログラマを交換してください。
<b>E651</b> HPP ROM ERR	ハンドヘルドプログラマで ROM エラーが発生しました。ハンドヘルドプログラマの電源をリセットしてください。エラーが再発する場合は、ハンドヘルドプログラマを交換してください。
<b>E652</b> HPP RAM ERR	ハンドヘルドプログラマで RAM エラーが発生しました。ハンドヘルドプログラマの電源をリセットしてください。エラーが再発する場合は、ハンドヘルドプログラマを交換してください。